**医療衛生学部実験動物施設　実験動物管理者 殿**

実験動物施設の感染実験室の使用にあたり、以下の通りお届けいたします。

１．使用微生物の名称（学名：由来）

上記微生物の危険分類レベル： 主な感染経路：

 病原性：

　　上記微生物の学内での保管場所：

　　安全実験責任者（注）：

　　有効な消毒薬：

　　無効な（効果の低い）消毒薬：

　　薬剤耐性の有無と耐性薬剤名（有・無）：

　　プラスミドおよび組換え体の保有（有・無）：

２．上記微生物を用いる実験方法

　　①動物種（系統）　　　　　　　　　　　　　②予定使用匹数

　　③感染手法

　　④使用器具

３．安全実験責任者（注）の上記の微生物の利用経歴の有無

　（共同利用実験者についても、別紙に所属、職位、氏名と経歴を記載し添付のこと）

　　有りの場合：過去3年、または、過去の利用経歴

　　無しの場合：微生物に対する知識と使用経験のある微生物の使用経験（経歴）

４．バイオセイフティ委員会への使用微生物の届出。

　　保　管　届　（有・無）　無の場合の理由（　　　　　　　　　　　　　　）

　　分与受領届　（有・無）　無の場合の理由（　　　　　　　　　　　　　　）

５．緊急連絡先：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

６．利用終了時の消毒予定日：　　　　　　年　　　月　　　日

　　　実験終了時には安全のために速やかに消毒を行い、動物飼育のための消毒につい

て施設管理室で指定された消毒を実施いたします。

以上の通り相違ありません。

　　　年　　　月　　　日

安全実験責任者（注）：所属　　　　　　　職位　　　　　氏名　　　　　　　　　　印

（注）安全責任者とは北里大学バイオセイフティ管理規程に定める実験責任者です。

実験動物施設利用心得【１．感染実験を実施する場合】ならびに同１）を参照してください。